

第4回日本視野学会学術集会 モーニングクルーズ 1

Alcon®

日時：2015年5月31日(日) 8:30～9:20

会場：第1会場 (金沢市文化ホール 1F 大ホール)

〒920-0864 石川県金沢市高岡町15番1号 TEL: 076-223-1221

a Novartis company



視野学会で学ぶ

ドライアイ・ 白内障手術 と視機能

座長のことば

視野学会の主要なテーマは、言うまでもなく、緑内障や網膜色素変性などの神経変性疾患である。しかし、それらの疾患と合併し、あるいは、加齢とともに増加するドライアイや眼内レンズ挿入眼の視機能を理解しておくことは、視野検査とその評価においても、有益な情報を与えてくれることであろう。

このセミナーでは、ふだん視野学会では取り上げられることの少ない二つの話題から、参加された先生方が、日常診療と研究のヒントを見出していただければ幸いである。

座長

金沢医科大学

佐々木 洋 先生



演者

大阪大学

高 静花 先生



涙液・眼表面が
視機能に及ぼす影響

演者

慶應義塾大学

根岸 一乃 先生



白内障手術・
眼内レンズと視機能

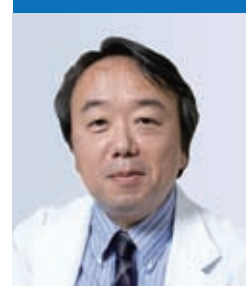
共催：第4回日本視野学会学術集会・日本アルコン株式会社

日本アルコンは Alcon Novartis Hida Memorial Award を通じて眼科医療の発展をサポートしています。

座長

金沢医科大学 **佐々木 洋** 先生

- 略歴
- 1987年 金沢大学卒業
 - 1987年 自治医科大学眼科入局
 - 1991年 米国オークランド大学眼研究所研究員
 - 1993年 自治医科大学眼科助手
 - 1996年 金沢医科大学眼科講師
 - 2005年 金沢医科大学眼科学教授
 - 2007年 中国医科大学客員教授
 - 2008年 東北文化学園大学視覚機能学専攻客員教授



演者

**涙液・眼表面が
視機能に及ぼす影響**

大阪大学 **高 静花** 先生

- 略歴
- 1999年 大阪大学医学部卒業、大阪大学医学部眼科入局
 - 2007年 米国ロチェスター大学眼科研究員
 - 2010年 大阪大学大学院医学系研究科視覚情報制御学助教
 - 2012年 大阪大学大学院医学系研究科眼科学助教



抄録

視機能低下がドライアイの定義に含まれる以前は涙液と視機能の関係についてあまり知られていなかった。しかし、ドライアイではたとえ矯正視力が良好であっても、涙液安定性の低下により良好な眼球光学的特性の維持が困難であること、また角膜中央部の上皮障害が眼球光学的特性に影響を与えることが最近明らかになってきた。これは前眼部のみならず、さまざまな眼科診断・治療に影響を及ぼしうると考えられる。本セミナーでは、ドライアイを中心に涙液・眼表面が視機能に及ぼす影響について述べさせていただく。

演者

**白内障手術・
眼内レンズと視機能**

慶應義塾大学 **根岸 一乃** 先生

- 略歴
- 1988年 慶應義塾大学医学部卒業・同眼科学教室入局
 - 1995年 国立埼玉病院眼科医長
 - 1998年 東京電力病院眼科科長
 - 2001年 慶應義塾大学眼科学教室専任講師
 - 2007年 慶應義塾大学眼科学教室准教授、現在に至る。



抄録

近年、白内障手術と眼内レンズ (IOL) の進歩に伴い、白内障手術の適応が拡大している。インターネットの普及や健康情報番組などによる情報過多の時代において、患者の高い期待や厳しい要望に応えるためには白内障術後の Quality of life や Quality of Vision の一層の向上が求められる。白内障術後に可能な限り眼鏡なしで過ごしたいと希望する患者に対しては、たとえ多焦点眼内レンズや乱視矯正眼内レンズなどの高機能眼内レンズのよい適応とは言えない場合でも患者がその治療を強く希望する場合も増えている。

本講演では、自験例を踏まえ、高機能眼内レンズの視機能と適応の拡大について検討する。